

グローバル・ネットワークを創る仕事 ～国連職員からのメッセージ～



Creating a Global Network: A UN staff member tells his story

大学院留学、経団連やOECD、国際公務員と、着実なステップを踏んでグローバルなキャリアを積み上げてきた小松原茂樹さんをお迎えして、このたびICCTーク・セッションを開催します。小松原さんは現在、アフリカ開発会議（TICAD）を日本と共催するUNDPの窓口として、国連ニューヨーク本部（UNDPアフリカ局）を拠点に日本とUNDPのアフリカにおける協力全般（平和構築、気候変動、人間の安全保障、日本企業とのパートナーシップなど）の促進に携わっておられます。

その幅広い視野と豊富な業務経験から、世界を舞台に仕事をする実感、問われる資質、やりがいや困難など、現場のさまざまなストーリーと、今後世界に羽ばたく早大生に贈るアドバイスをお伺いします。昨年・一昨年にも実施し、大好評だったトーク・セッションです！ 特に将来、国際機関や多国籍企業、あるいは外資系企業などで働くことを目指す方、奮ってご参加ください。

5月26日（火）

16:30～18:00（開場 16:10）

会 場：Waseda Global Gateセミナールーム
（早稲田キャンパス22号館1階）

対 象：早大生・教職員・一般

言 語：日本語

参加費：無料 **事前登録：**不要（先着順60席）

ゲストスピーカー

国連開発計画（UNDP）アフリカ局
TICADプログラムアドバイザー

小松原 茂樹 氏



東京外国語大学卒業後、ロンドンスクールオブエコノミクス大学院で経済学修士号（国際関係論）を取得。
（社）日本経済団体連合会事務局、OECD（経済協力開発機構）民間産業諮問委員会（BIAC）事務局出向を経て2002年より2002年より国連開発計画に勤務。本部アフリカ局カントリーアドバイザー、ガーナ常駐副代表等を歴任。現在はニューヨーク勤務。